■　多職種連携･･･県内のさまざまな“かたち”･･･多職種連携の拠点･機能

■　**連携とは、**※ 互いの力を引き出し合う関係 ⇒ 自らのスキルアップに繋がり ⇒ 互いを高め合い ⇒ 目指すまち（地域）に繋がる

＊H29 年度市町ﾋｱﾘﾝｸﾞ より

【大津圏域】

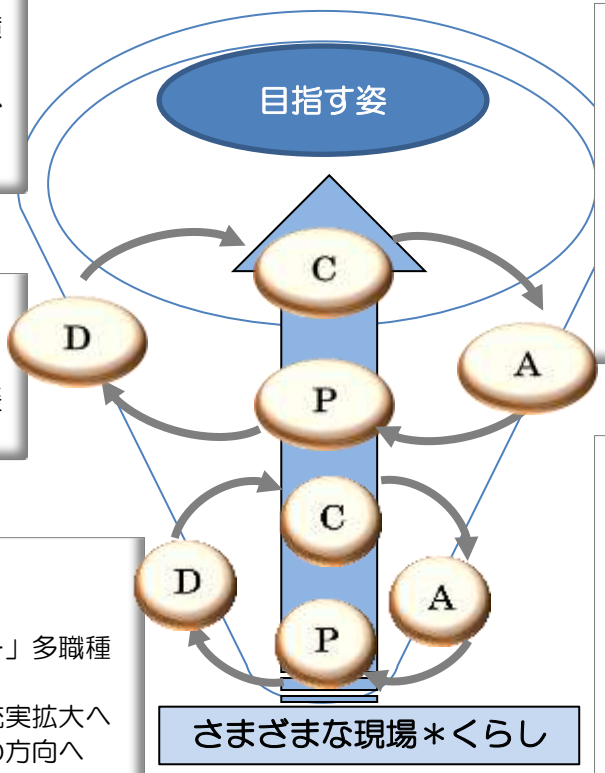
＊地域包括エリア×職種団体＝縦横チーム編成
＊出前講座、くらし相談、防災訓練、住民くらし安心評価（予定）

【湖北圏域】

＊広域連携：「ながまい net」
＊出前講座等啓発、課題共有
＊さまざまな主体（社協、ｹｱｾﾝﾀｰいぶき、事業者）とテーマ（認知症など）による研究会［米原］
＊びわ湖あさがおネット活用促進

【湖南圏域】

＊かかりつけ医紹介ルール(案)
＊びわ湖あさがおネット普及活用
＊市民啓発、看取り、意思決定支援



【高島圏域】

＊医師会主導の医療連携ネットワークを拠点に連携推進
＊「同職種間ー2 職種間ー多職種間」階層的に現状課題を踏まえた連携構築
＊在宅療養満足度調査（ｱﾝｹｰﾄ、ﾋｱﾘﾝｸﾞ、多職種にﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ）

【甲賀圏域】

＊医師連携システム（運用、検討）
＊甲南病院「在宅医療支援センター」多職種ｽｷﾙｱｯﾌﾟ、住民啓発など
＊リハビリ職を核に多職種連携の充実拡大へ
＊認知症、小児を含む全世代対応の方向へ

【東近江圏域】

＊圏域(NPO)、市町、旧町単位で多職種連携拠点設定と相互連携
＊会場持ち回りにより相互理解へ
＊地域ケア会議を地域づくり（人、場、繋がり）のきっかけに活用［日野］
＊「要介護２の高齢者が自宅で安心して暮らせるまち」を目標［竜王］